
都道府県 U12/U14/U16 育成センターガイドライン

2022/4

はじめに

本資料は、都道府県育成センター事業実施の際に守って頂きたい事項を纏めたガイドラインである。

U12/U14/U16 の各世代における共通事項を記載しているが、年代別に考慮頂きたい事項は【】にて年代別に記載していることを留意いただきたい。

1. 育成センターの目的

公益財団法人日本バスケットボール協会(以下「JBA」)は世界に通用するバスケットボール環境構築のために「世界基準を日常に取り入れる」「世界を目指す環境整備」「一気通貫」という強化育成方針を示している。これに基づき、将来日本代表となる優秀な素質を持つ選手や可能性の高い選手に定期的に良い育成環境(練習環境・指導環境)を提供して個を大きく育てること、合わせて指導者の研鑽の場として指導者を養成することを設置の目的とする。

【U12】バスケットボールの楽しさを基盤としながら、選手個々の能力向上を主とし、局面別の個人技術・戦術を導入すること。

【U14】バスケットボールの楽しさを基盤としながら、選手個々の能力向上を主とし、局面別の個人技術・戦術及びグループ戦術の習得、その他必要に応じ強化的活動について学ぶこと。

【U16】バスケットボールの楽しさを基盤としながら、選手個々の能力向上を主とし、局面別の個人技術・戦術及びグループ戦術の発展、さらに U16 国体活動に繋げるためにも、強化活動の専門化へ向けて精神的準備を行うこと。

2. 定義

① 名称及び事業単位

1.名称 育成センター Development Center 略称：DC

2.事業単位

以下の規模とカテゴリーによりひとつの事業単位とする。

■規模

・都道府県 ●●県(都道府)育成センター (●●県 U○○DC)

・地区 ▲▲地区育成センター (▲▲地区 U○○DC) (推奨)

※ 地区 DC と都道府県 DC の事業単位構造を構築する。

	地区DC	都道府県DC	ブロック	ナショナルDC
U11	推奨	推奨	—	—
U12	◎	◎	●U12指導者講習	—
U13	推奨	推奨	●U15指導者講習	—
U14	◎	◎	■U14DC交流活動	◎
U15	推奨	推奨	—	○※
U16	推奨	◎	—	—

※U15ナショナルDCは隔年で実施

② 都道府県育成センターの活動

月1回以上、年間10回以上の活動を基本とする。

- 1.育成環境整備を目的としており、定期的に機会を与えたい趣旨である。
- 2.基本3時間とする。
- 3.都道府県の実情に応じて、宿泊を伴う実施を妨げるものではない。

③ 位置づけ

JBAは本事業を部活動とは切り離れた「社会教育事業」と位置付けている。

運動部活動ガイドライン(平成30年3月スポーツ庁より発表)において「競技団体は、競技の普及の観点から、運動部活動が適切に行われるために必要な協力を積極的に行うとともに、選手の育成・強化を運動部活動に委ねることなく、アスリートを目指す優れた素質を有する生徒が、各地域において競技力向上に係わる専門的な指導が受けられるよう、実施体制の整備を推進する必要」との指摘を鑑み、育成センターを計画する。

都道府県の実情を考慮しながら、でき得ることから実施し、育成方針の具現化・育成課題解決のために育成センター事業を推進して頂きたい。

3. 選手・スタッフ

① 参加資格

【U12U14U16 共通】

- 1.TeamJBAに選手登録を行っていること。
- 2.外国籍選手の参加について、将来的な帰化の可能性を考慮し、TeamJBA選手登録を前提として参加を認める。
- 3.居住地・学校所在地・活動場所のいずれかが開催する育成センターの都道府県であること。
(U16国体参加資格と異なる場合がある)

【年代別事項】

4.年齢(カテゴリー)

優秀な選手の場合、上のカテゴリーで活動することは妨げない。(飛び級可)

【U12】小学6年生の選手を中心とするが、小学5年生で優秀な選手の場合、U12カテゴリーで活動することは妨げない。但し学業との兼ね合い、実施時間(夜間)等の配慮を行うこと。

【U14】中学2年生の選手を中心とするが、中学1年生で優秀な選手の場合、U14カテゴリーで活動することは妨げない。同様に、U13は中学1年生の選手を中心とするが、小学6年生で優秀な

選手の場合、U13 カテゴリーで活動することは妨げない。但し学業との兼ね合い、実施時間(夜間)等の配慮を行うこと。

【U16】1月1日付の年齢を基準とし、それ以下のDCは4月2日付の年齢(学校における学年)とする。

理由：国体活動との連携を図るため。但し高校2年生早生まれ選手を含めるかどうかは都道府県裁量で決定して良い。

② 選手参加規定

【U12U14U16 共通】

- 1.原則として育成センター活動を優先し、参加すること。
- 2.全国大会やそれに準ずる公式戦の予選等と日程が重複した場合は、チームの活動を優先することが出来る。平日の活動を実施する場合、選手・所属チームにあらかじめ日程を示し、過剰負担とならないように配慮する。
- 3.飛び級の選手(優秀な選手で上のカテゴリーで活動する選手)は、上位・下位のDCに両方に参加できる。上位DCを優先し、過度の負担にならないよう配慮する。

【年代別事項】

4.選手の入替え

【U12】新たな有望選手発掘の観点から年間2回程度の選手追加を行ってもよい。但し年代を考慮し、落選させることは行わないこと。

【U14】新たな有望選手発掘の観点から年間2回程度の選手入れ替えを行ってもよい。但し年代を考慮し、落選した選手の心理面への配慮を行うこと。

【U16】新たな有望選手発掘の観点から年間2回程度の選手入れ替えを行ってもよい。

③ 参加人数

- 1.事業単位(都道府県・地区)毎の参加人数は20名程度とするが、都道府県協会(以下「PBA」)の裁量で決定してもよい。

④ 参加料

- 1.受益者負担の考え方にに基づき選手から参加料を徴収する。
- 2.1回当たり1000円以内が望ましい。
- 3.参加費収入が総経費の60~100%となるように設定を考慮する。

⑤ 運営スタッフ

1.全体総括

育成センターに関するマネジメント、指導内容、指導者の統制等、全てを統括する。

2.カテゴリー総括マネージャー(事務局を兼ねる)

- ①全体総括・指導責任者と連携を取りながら、カテゴリー内の活動を掌握する。
- ②カテゴリー間連携を強化し、選手の情報共有を行う。
- ③年間計画・会計処理等を行う。

3.任期は1年間とする。(再任は妨げない)

⑥ 指導スタッフ

- 1.全ての指導者は、PBA ユース育成委員会により任命された者で、**JBA コーチライセンスを有する有資格者**とする。C級ライセンス以上が望ましい。
- 2.指導スタッフは、JBA・PBA ユース育成委員会のユース育成事業の趣旨を理解し、カテゴリー総括マネージャーと協力して育成センター活動の充実を図る。

- 3.事業単位ごとに、メイン指導者、サブ指導者、マネジメントをおくことが望ましい。マネジメントは
カテゴリー総括マネージャーと連携して事務的業務も行う。
- 4.任期 は1年間とする。(再任は妨げない)
- 5.指導スタッフの任命・解任の権限は、PBA ユース育成委員会にある。

⑦ 遵守事項

- 1.JBA インテグリティ委員会による「クリーンバスケット、クリーンザゲーム」を遵守し、暴力暴言根絶を徹底すること。
※ JBA 行動規範には暴言暴力のほか、不適切な指導、安全義務違反、リクルート、金品の贈与および受領等が含まれる。特に重大な過失を伴う重い事故が生じた場合、保険だけでは対応できないことがあること、指導者個人が訴訟対象となることを認知しておくこと。
- 2.選手選考に際し、選手の進路決定に影響する発言・行動を行わないこと。

4. 指導内容・研修・選手選考

① 指導内容

【U12U14U16 共通】

- 1.人間教育を重視すること。「人間力なくして競技力向上なし」(JOC 強化方針)
- 2.JBA 技術委員会ユース育成部会より提示された JBA 育成方針に基づき、各 PBA ユース育成委員会の
実情に応じて指導内容を決定する。
- 3.習熟度、発達状況を考慮し、幅を持たせた柔軟な対応をお願いしたい。

【年代別事項】

【U12】 個の育成を主眼とし、局面別の個人技術・戦術の習得理解を目指す。

【U14】 個の育成を主眼とし、局面別の個人技術・戦術及びグループ戦術の習得理解を目指す。

【U16】 個の育成を主眼とし、局面別の個人技術・戦術及びグループ戦術の習得、チーム戦術への応用を
目指す。

② コーチ研修会

- 1.都道府県において、年度当初に全ての育成コーチを対象としたコーチ研修会を計画すること。
- 2.研修会に参加できない場合は、これに代わる指定の講習会に参加しなくてはならない。

③ 選手選考

【U12U14U16 共通】

- 1.育成年代の選手の選考にあたっては、「今」の評価だけでなく「将来」を想定した評価を取り入れ、
選考を行うこと。
- 2.別に定める選手評価基準を参考に PBA ユース育成委員会の定める担当者が合議の上で選手選考を
実施する。
- 3.育成センター設置の目的を鑑み、国体活動と目的を異として勝利を目指すチーム作りのための選考と
なってはならない。

【年代別事項】

【U12】 U12 においては、育成方針を念頭におき、子どもの目標とするための選手選考を地区・都道府
県単位で行ってもよい(選手選考は必須としない)。